

第1回 東通地域原子力防災協議会作業部会 議事概要

日 時 : 平成27年6月3日(水) 12:55~14:48

場 所 : 東通村防災センター

出席者 : (内閣府)政策統括官(原子力防災担当)付 森下参事官、笠畑推進官、川嵯、野島、
和合 防災専門官 足立、松原、西野、村上
(規制庁)小林地域原子力規制総括調整官、石口モニタリング対策官事務所長
(県 等)青森県環境生活部原子力安全対策課、同健康福祉部健康福祉政策課、同医療業務課、青森県警察本部、陸上自衛隊東北方面総監部、第9師団司令部、
海上自衛隊大湊地方総監部、海上保安庁第二管区海上保安本部、東通村(オブザーバー参加)、下北地域広域行政事務組合消防本部(オブザーバー参加)

議 題 :

- (1) 原子力防災対策協議会および作業部会の設置について
- (2) 東通地域の緊急時対応の作成に向けて
- (3) 原子力防災に係る青森県の取組について
- (4) その他

議事概要 :

- (1) 原子力防災対策協議会および作業部会の設置について
- (2) 東通地域の緊急時対応の作成に向けて
 - 内閣府より、今年3月に内閣府が作成した「地域原子力防災協議会の設置について」及び4月に公表した「ワーキングチームの活動報告(2)」の資料に基づいて、道府県や市町村が作成する地域防災計画・避難計画等の具体化・充実化を支援するため、原子力発電所の所在する地域毎に課題解決のためのワーキングチームとして「地域原子力防災協議会」が設置されることとなったことについて、説明があった。
 - また、これまで、ワーキングチームとして行っていた会議は、地域原子力防災協議会作業部会として位置づけられ、今後も継続して、避難計画を含む地域の緊急時対応について、原子力災害対策指針に照らし、具体的かつ合理的なものとなるように、支援していくことについて確認された。
- (3) 原子力防災に係る青森県の取組について
 - 青森県より、「平成26年度原子力災害避難対策検討会部会の取組みについて」の資料に基づいて、住民の移動対策、被ばく医療対策や医療機関・社会福祉施設等の避難計画などの平成26年度における取組状況や今後の課題について、説明があった。

以上